

## 2018年度 第2回放送番組審議会 議事概要

1. 日時 2018年12月1日(土) 11:00~12:30
2. 場所 中山競馬場会議室
3. 審議委員  
今原 照之 【元・(公社)日本装削蹄協会 会長】  
有吉 正徳 【(株)朝日新聞社 記者】  
石井 國範 【元・(株)毎日新聞社 副社長】  
石井 秀司 【元・(一財)グリーンチャンネル 理事長】  
佐々木 嘉雄 【(一社)ケーブルテレビ情報センター 理事長】  
塩田 忠 【(公財)畜産近代化リース協会 理事】  
外山 みどり 【学習院大学 文学部 教授】  
山田 隆雄 【日本馬匹輸送自動車(株) 専務取締役】
4. 役職員 田村正明理事長、清水昌昭常務理事、宮本敏久常務理事、伊藤裕経営企画部長、永井龍治経営部企画担当部長、繁縄孝弘編成制作部長
5. 主な議題 2018年6月11日~2018年12月1日の番組について
6. 議事内容 (「GC」: グリーンチャンネル)

委員: 海外では、ドローン等新しい技術を採用して多彩なレース映像を提供している。日本でも出来ないことはないと思うので、参考として欲しい。

委員: 日本馬が出ないレースでも、ケンタッキーダービーのような海外の主要なレースを取り扱う番組は制作するのか。

GC: 本年は日本馬が出走していないレースとして、エプソムダービーと凱旋門賞前哨戦の生中継を行っている。ちなみに、ケンタッキーダービーは、生中継こそしていないものの、別番組で録画放送を行った。2019年も日本馬が出走しない海外のビッグレースについて、いくつか生中継を検討している。

委員：「中央競馬全レース中継」は、スタジオ中継が基本となっているが、日本ダービーや有馬記念のような大レースの時には、より現場の臨場感を伝えるために、キャスターを現地に置いて中継できると良い。

GC：一部の大レースの時は、簡易中継システムを使用して現地のリポートを行っている。今後もより一層、現場の臨場感や賑わいをお伝えできるよう工夫していきたい。

委員：いつ、どのような番組を放送するのかがわかりにくい。せっかく良い番組を放送しているので、何か工夫はできないか。一週間分の番組を少しずつ映像にまとめ、番組の合間に紹介するのも良いと思う。

GC：現在は、登録頂いたお客様にメールマガジンで放送予定について配信している。また、ホームページのリニューアルを行っており、SNSとの連携を行うことにより、放送する番組について発信を強化していく予定である。

委員：「岡部フロンティア 2018 モンゴル編 大草原の馬と人とナーダム」は、馬をこよなく愛する岡部さんの人柄がよく出ていた。また、雄大な草原を子どもたちが馬と駆け抜ける映像は圧巻であり魅力的な番組であった。

委員：「超絶景競馬！ ホワイトターフ in スイス サン・モリッツ」は実際にスイスに行ってみたく感じる番組だった。ホワイトターフでの競馬はスリリングで迫力があり、またオープニングの山岳鉄道からの景観も素晴らしく、引き込まれた。ただし、番組内で 2019 年に見に来てほしい旨言及されていたが、ホワイトターフでの競馬がいつ催されるのか更なる案内が欲しかった。

委員：「カンニング竹山×尾形充弘×グラスワンダー」は、番組冒頭で、浴衣姿の出演者が語り合うシーンがあった。せっかく良いコメントをしているのに、浴衣姿というのは演出として相応しくないように見受けられ、残念だった。番組内容は大変良かったが演出方法については、改善の余地がある。引退した種牡馬や繁殖牝馬に思い入れのある方は他にもいらっしゃると思うので、シリーズ化もできるかもしれない。

GC：番組へのご意見は GC として真摯に受け止め、今後のより良い番組制作の参考とさせていただきます。